

## お互いに仕事内容を交流 OJT報告会（2月25日） 職場での悩みも出し合い、改善方法も相談

仲間の声に耳を傾ける研修生たち。職場は違う  
ても、入職してまもない状況は同じ。共通する  
課題はあり、一緒に改善策を考えています。



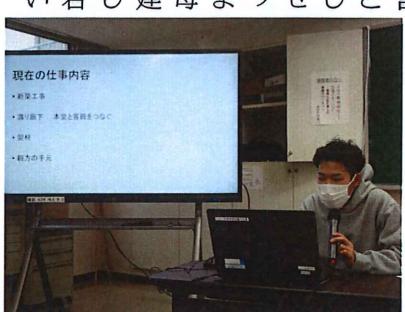
### 現場で何を学んだのか

OJT合同報告会は全体発表と分散会で構成されています。全体発表では、OJT実習の体験談や課題に対する意見交換が行われます。また、各自が担当した業務内容や、その業務に対する感想についても紹介されました。

分散会では、あらかじめ座長や記録係、全体会での報告係などを決めて、集団的な討論の仕方を学習します。ある目的を達成された組織運営の基礎的な能力を養うために経験があります。

最近のOJT報告会では、入職したばかりの若者たちは、直面する劣悪な労働環境や様々なハラスメントの告発が目立ちます。普段の現場では社長や親方、先輩に言及して自由に話せる場がカレッジにはあります。

※「二年間の学習を通して自己の能力を確信し、相手の立場、考え方を理解、尊重し、自分の表現したいことを第三者に対しして発表する力を持つこと」



堂宮大工の見習い実務を報告する1年生。日常の仕事内容をわかりやすく伝えようと、現場の写真も見せながら話しました。

# カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学  
大歓迎！

Tel 03  
(5950)  
1771

OJT（現場実習）という科目があり、所属する事業所の実務を通じての学びもカレッジ教育の一つとされています。毎月、「OJT月報」の提出を求める一方、授業の一環で行う年3回のOJT報告会では個別の仕事内容を発表します。うち2回は1年生、2年生合同開催。2月25日には今年度最後のOJT合同報告会が行われました。

### 4月入学、第28期生は24人

#### 初心の持続で着実な成長を

2月22日に今期最後の入学選考会を行い、第28期生募集の全日程が終わりました。今年4月の入学予定者は24人になりました。

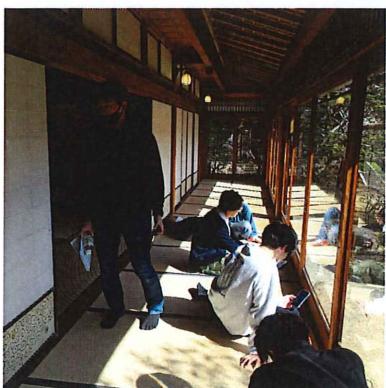
構成は、高校新卒9人、大学・専門校新卒3人で新社会人で半数を占める一方、30歳以上が6人います。職種は大工が多いですが、施工管理や設計、塗装工なども。一級建築士、二級建築士の資格所持者もいます。どのようなクラスができるのでしょうか。

中学校や高校での学習でつまずいてしまった方には、数学や実用日本語能力の復習などを求めていますが、カレッジではやる気次第で学習はリカバリーできることを強調しています。講師・指導員、教務スタッフ一同、「みんなで伸びる」「一人も落ちこぼさない」を合言葉に大いに励ましていきたいと考えています。

コロナ禍が続く中、東京建築カレッジは2020年度以降、宿泊研修の実施を見合わせていましたが、2022年度は、1年生が2月17・18日に「飯能・川越宿泊研修」（一泊二日）を行いました。2年生も3月16～18日に「奈良宿泊研修」（夜行・現地二泊三日）を行う予定です。当初は秋開催の予定でしたが、感染拡大状況から延期し、年度末の実施としました。

2年生の奈良宿泊研修には、開催中止した期（第24期・第25期）にも参加を呼びかけ、卒業生8人が参加することになりました。また、今回は奈良県宇陀市で活動する卒業生一級建築士をガイド役に「伝統的建造物群保存地区」を巡る企画も加わりました。卒業後の仕事の方向性に大いに刺激を受ける研修にしたいと考えています。

### 3年ぶりの宿泊研修。1年生は「飯能・川越」、2年生は「奈良」



左写真は、1年生の「飯能・川越宿泊研修」。上写真は、「西川村」をふんだんに使った「飯能商工会議所」、下は、川越の重要な文化財

#### 1年生の授業から

1月28日に27期実習棟を上棟し、これまで3回の実習では垂木、野地板、間柱・筋交の実習を行いま

### 実習棟実習 まぐさ、窓台を手刻みで



仲間同士助け合って作業を進めています。

2年生は2月18日に「技能照査・学科試験」を終えて、卒

#### 2年生の授業から



構造の授業では、必要壁量計算に挑戦、木造建築物の地震時の耐震性を確認する方法の技能照査・学科試験。真剣な表情で問題を解く2年生

前号で本校の元教務運営委員、赤地龍馬先生が昨年6月、逝去されたことを報じました。追悼文が

#### 追悼 赤地 龍馬先生

約40年前、墨田工業高等学校建築科に在学中、赤地先生が顧問の硬式野球部にオーリジナルのビジュアル資料で楽しく遊びました。

### 卒業制作発表に向け、時間とのたたかい

このほか、奈良研修の事前学習では、奈良時代から鎌倉時代にかけて日本建築の技術がどのように変化発展を遂げたのか、担当講師

寄せられましたので紹介します。

1つ「4分割法」を学びました。

#### ◆会田工務店 會田 猛

約40年前、墨田工業高等学校建築科に在学中、赤地先生が顧問の硬式野球部にオーリジナルのビジュアル資料で楽しく遊びました。

級建築士受験準備講座へ。そこで赤地先生と再会しました。「大工は建築士の勉強も大切だ」と励ました。社員大工の育成を相談すると、「いつでも私がいる、土建の建築士講座やカレッジに入れなさい」と先生。弊社社員4人は二建を取得、みんな職人）。カレッジには5人入校、赤地先生の指導を受けました。コロナ禍前の新年会でお会いしたのが最後でした。私の建築人としての礎を育てていただいたことに感謝しています。